



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社システム情報 上場取引所 東
 コード番号 3677 URL https://www.sysj.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 隆司
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 笠屋 雅義 TEL 03-5547-5705
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	7,283	26.2	670	20.1	676	19.7	470	19.6
29年9月期第3四半期	5,771	22.2	558	24.1	565	25.1	393	30.9

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 559百万円 (24.7%) 29年9月期第3四半期 448百万円 (49.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	39.77	39.76
29年9月期第3四半期	33.35	33.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第3四半期	4,229	2,708	64.0	228.83
29年9月期	3,747	2,326	62.1	196.57

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 2,708百万円 29年9月期 2,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	16.6	870	12.7	870	11.5	620	12.7	52.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	11,834,800株	29年9月期	11,833,600株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	ー株	29年9月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	11,834,315株	29年9月期3Q	11,792,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や設備投資が引き続き堅調に推移し、個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に持ち直しの動きが見られるなど、総じて緩やかな回復基調が持続しております。

一方、世界経済は、米国トランプ政権の保護主義的な通商政策に端を発する貿易摩擦への懸念が高まるなど、先行きに対する不透明感は払拭できない状況です。

当社グループが属する情報サービス産業においては、人工知能（AI）、IoT（Internet of Things）、次世代セキュリティソリューション等の技術を活用した製品が登場し、生産効率を高めるだけでなく、新たなビジネスや価値を創造するものとして、従来にないスピードで普及が進みつつあります。また、日銀短観6月調査において、全産業及び金融機関合計のソフトウェア投資計画が前年度比6.4%増となる等、堅調に推移しております。

このような環境下、当社は、前期よりソリューション本部を新たに立ち上げ、AIを活用したコグニティブサービス、情報セキュリティサービス、クラウドサービスを3本柱として、新規ビジネスへの取り組みを本格的に開始、順調に業容が拡大しております。

当第3四半期には、3月から販売を開始したIBM Watsonを活用した音声認識ソリューション「AI Meeting」につき、数社でトライアルを実施、導入検討中企業は数十社に上るなど、着実に事業化を推進しております。また、当社AIビジネスの知見が評価され、新たな開発案件の受注にもつながっております。

これらの新規ビジネスへの取り組みが評価され、5月にJASDAQ上場企業として唯一2年連続で経済産業省の「IT経営注目企業」に選出されました。経済産業省は、我が国企業の戦略的IT活用の促進に向けた取り組みの一環として、平成26年度から東京証券取引所と共同で「攻めのIT経営銘柄」を選定しており、今回で4回目の開催となります。昨年からの攻めのIT経営に関して注目すべき取り組みを実施している企業を「IT経営注目企業」として経済産業省単独で選定・発表することとなり、当社は2年連続でその1社に選定されたものです。

当社グループは、最高位のレベル5を達成しているCMMI[®](注1)や我が国トップクラスの取得率を誇るPMP[®](注2)をベースとした当社独自のシステム開発標準（SICP(注3)）に基づくプロジェクト管理を徹底し、高品質の製品の納入に努めてまいりました。こうした取り組みが評価され、既存ビジネスにおいては、生損保、小売、流通関連の大手企業によるシステム構築・更改案件が増加し、官公庁インフラ関連案件も大型化するなど業績は順調に拡大しております。

また、CMMIの3つのモデル全て、かつレベル4及び5を含めた高成熟度のアプレイザルをリードする日本で唯一の資格保有者を持つという当社の強みを活かした「全組織向けCMMIフル活用コンサルティング」サービスも順調に拡大しております。

さらに、人材不足解消に向けたパートナー企業との連携強化や、即戦力としての中途採用も積極的に実施し、当社グループ合計で掲げていた100名の採用目標を既に上回る実績を挙げております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,283,758千円（前年同期比26.2%増）、営業利益670,608千円（同20.1%増）、経常利益676,860千円（同19.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益470,599千円（同19.6%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(注1) CMMI[®]（Capability Maturity Model Integration の略）

米国カーネギーメロン大学（CMU）のソフトウェア工学研究所（SEI）が開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデルであり、組織のプロセス能力（成熟度）を5段階で評価し継続的な改善を促す、体系的なプロセス改善のためのモデルであります。現在ではソフトウェア開発能力を測る国際標準的な指標となっております。

(注2) PMP[®]（Project Management Professional の略）

米国PMI（Project Management Institute）が認定するプロジェクトマネジメントに関する資格であります。PMIが発行する知識体系ガイド（PMBOK[®] = A Guide to Project Management Body of Knowledge）に基づくプロジェクトマネジメントエリアに関する知識と理解度をはかることをその目的としております。現時点ではプロジェクトマネジメントに関する国際標準的な資格となっております。

(注3) SICP（SI&C System Integration Control Processの略）

国際資格／標準であるPMP[®]、CMMI[®]をベースに、35年超に及ぶ当社の開発ノウハウを注入して策定した当社独自の開発標準であります。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて482,023千円増加し、4,229,957千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて291,603千円増加し、3,052,951千円となりました。これは主に、現金及び預金が298,067千円、仕掛品が57,574千円増加したものの売掛金が73,180千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて190,419千円増加し、1,177,006千円となりました。これは主に、有形固定資産が35,380千円、投資その他の資産が165,895千円増加したこと等によるものであります。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比べて100,004千円増加し、1,521,811千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて96,116千円増加し、1,316,563千円となりました。これは主に、買掛金が32,711千円、賞与引当金が157,065千円増加したものの未払法人税等が97,976千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて3,888千円増加し、205,247千円となりました。これは主に、繰延税金負債の増加等によるその他の固定負債が40,608千円増加したものの長期借入金が37,801千円減少したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて382,018千円増加し、2,708,146千円となりました。これは主に、利益剰余金が293,095千円、その他有価証券評価差額金が88,846千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）通期の業績予想につきましては、平成30年4月10日の「業績予想及び配当予想の修正（期末配当の増配）に関するお知らせ」で公表した内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,065	1,691,133
売掛金	1,232,569	1,159,388
仕掛品	36,093	93,667
その他	99,618	108,760
流動資産合計	2,761,348	3,052,951
固定資産		
有形固定資産	82,397	117,777
無形固定資産		
のれん	198,056	175,896
その他	32,104	43,408
無形固定資産合計	230,160	219,304
投資その他の資産		
投資有価証券	315,994	444,052
その他	363,330	400,937
貸倒引当金	△5,296	△5,065
投資その他の資産合計	674,029	839,924
固定資産合計	986,586	1,177,006
資産合計	3,747,934	4,229,957
負債の部		
流動負債		
買掛金	354,806	387,517
短期借入金	110,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	84,620	76,810
未払法人税等	192,834	94,858
賞与引当金	51,628	208,693
その他	426,558	438,684
流動負債合計	1,220,447	1,316,563
固定負債		
長期借入金	111,617	73,816
退職給付に係る負債	17,750	18,830
その他	71,992	112,601
固定負債合計	201,359	205,247
負債合計	1,421,807	1,521,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,559	302,598
資本剰余金	189,259	189,298
利益剰余金	1,722,391	2,015,487
株主資本合計	2,214,211	2,507,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,915	200,762
その他の包括利益累計額合計	111,915	200,762
純資産合計	2,326,127	2,708,146
負債純資産合計	3,747,934	4,229,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,771,619	7,283,758
売上原価	4,526,101	5,802,340
売上総利益	1,245,517	1,481,418
販売費及び一般管理費	687,002	810,809
営業利益	558,515	670,608
営業外収益		
受取利息	141	88
受取配当金	7,064	7,869
受取手数料	1,661	1,625
受取保険金	278	1,459
助成金収入	-	2,190
その他	271	1,667
営業外収益合計	9,418	14,899
営業外費用		
支払利息	2,136	2,265
債権売却損	467	855
保険解約損	-	843
支払手数料	-	4,000
その他	96	683
営業外費用合計	2,700	8,647
経常利益	565,233	676,860
特別損失		
固定資産除却損	-	1,804
特別損失合計	-	1,804
税金等調整前四半期純利益	565,233	675,056
法人税等	171,905	204,456
四半期純利益	393,327	470,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	393,327	470,599

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年10月1日 至平成29年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年10月1日 至平成30年6月30日）
四半期純利益	393,327	470,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,141	88,846
その他の包括利益合計	55,141	88,846
四半期包括利益	448,469	559,446
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	448,469	559,446
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。